



黒石市は、青森県のほぼ中央に位置し、古くから「りんごと米と温泉の田園観光都市」として親しまれており、平野部では水稻、中山間部では果樹や高冷地野菜を主体とした農業が展開されております。

平野部は、良質な土壌に恵まれ、山間部からは、八甲田連峰のミネラル豊富な伏流水が流れ込み、有機農業に取り組むためには非常に有利な資源が存在しています。

日本の農産物の強みは、素晴らしい自然環境です。この強みを活かした「安全」「安心」「美味しい」農産物を世界の方々が期待しています。この期待に応えるために、SDGsの理念の元、有機農産物の生産に取り組まなければなりません。そのことが農業に従事する方々の自信と誇りに繋がり、コミュニティーの充実に結びついていく事と考えています。

そのため、本市では、有機農業の推進を起点とした食と農の活性化を図り、魅力あるまちづくりを目指して、ここに「オーガニックビレッジ」に取り組むことを宣言します。



令和5年3月20日

黒石市長

高 樋 患